風地蔵新聞

第１１１号
発行　編集
風地蔵
白石　美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町８５

ヤフーブログ
毎日更新中
炎の女みほ日記
http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

残り物が変身

大橋　美紀

我が家の夕食がコロッケの時は、前日の残りで、アレンジしています。

たとえば、かぼちゃの煮物。チーズを加えてコロッケに。カレーの時は、具を軽くつぶし、片栗粉と生クリームを加えてコロッケに。グラタンなら、そのままグラタンコロッケになります。まだまだ、アレンジコロッケレシピは続きますが、我が家の人気ナンバーワンは、肉じゃがコロッケです。肉じゃがをざるにあげて、水分を抜き、具だけになったものをボールでつぶします。それを小判形にして、小麦粉・卵・パン粉を付けます。しっかり味がついているので、ソースをかける必要もなく、そのままでとても美味しいですし、少しコチジャンを入れ、辛味を出したり、カレーパウダーを入れたりもしますが、シンプルなにも入れない肉じゃがコロッケが一番だと、主人も息子も言っています。

私が選ぶ、アレンジコロッケは、2人とは違って、ポテトサラダのコロッケです。塩コショウマヨネーズが入っているので、味付けはいりません。形を作るときに、真ん中にほぐした明太子を入れると絶品です。一度お試しください。形もまん丸にしたり、俵にしたり、パン粉も細かいものだったり、粗いものにしたりと、残り物が変身することを楽しみながら作っています。

そうそう、新作があります。里芋コロッケです。里芋はコロッケに向かないと思っていたのですが、この前チャレンジしてみました。煮物の里芋はつぶし、煮汁にミンチを入れ煮詰め、片栗粉で硬めにして里芋の真ん中に入れます。なかなか、粘り気もあって、お酒の肴にもいいみたいです。まだ1度しか作ったことはありませんが、主人も気に入ってくれました。ただボリュームがありすぎて、次回は、小さめに作ろうと思います。

皆さんは、おすすめの残り物のアレンジはありますか？私はすごく興味があり、この頃ネットのクックパッドを利用しています。残り物は節約レシピ。すごく参考になります。新聞を読まれる皆さんのアイデアもぜひ、教えて頂きたいものです。あて先はこちら↓５０３－０９２２大垣市馬場町８５風地蔵新聞お便り コーナー係まで。

九州の空から

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、ますます懸命に働いているのに、我私達の生活が不安に　が暮らし楽にならず・・。脅かされた年でもあ　そのなかで、わたしたちは、りました。こんなに、考え、知恵を出し、生き抜いていこうと、謙虚に立ち　汗を流す事で、平和が生まれます。ことしも、止まら向かう姿勢は、政治の嘘と　ずに動きたいものです。本当をしっかり見抜いている　今年１年、希望を持って新るようです。

イタリアのように、県単位、　しい年が始まるお喜び、申市単位で、小さな国ができ　し上げます。るかもしれませんね。

とにかく、平和であり続けることが基本です。争いを避け、冷静な判断と、腐らず勤勉に日々を全うして、

あまでうすです

寒い冬を迎えると、強迫観念の様に聴きたくなる曲がある。北欧フィンランドの作曲家ヤン・シベリウスだ。森と湖の国の音楽が、寒い冬に似合うのかも知れないと個人的には思っている。その音楽を聴き乍ら飲むコーヒーは格別。冬には益益コーヒーの香りと味が、しこたま恋しくなる季節でもある。朝はいつもの様に、梅珈琲を飲む。流石に今の時期、夏場の様にアイス・コーヒーと云う訳にはいかないが、スパイスの効いたカルダモン・ホットコーヒーを昼に飲んでいる。

ちなみに「珈琲」という漢字を日本で初めて考えた人物は、幕末の蘭学者・宇田川榕庵だと云われている。コーヒーの木に実った赤い実の様が、当時女性の髪に飾っていた簪に似ている事から「珈」は髪に挿す花かんざし、「琲」はかんざしの玉を繋ぐ紐を表わしているそうだ。この時代から造語は作られていたのだ。森鴎外は「業績」と云う造語を、福沢諭吉は「経済」と云う造語を作っている事からも、榕庵は非凡な人物であった様だ。

去年のコーヒーセミナーを受けた後、朝のレギュラー・コーヒーの淹れ方に少し変化が出てきている様に思われる。此処で、先回書き足らなかった事を纏めると、ドリップを安定させる方法に於いて、使い易い道具を選ぶことから、挽き方、拝数、お湯の温度、注ぎ方に至るまで、改めて見直した事も大きな要因だ。確かにドリップはややこしいのだ。兎に角、まず淹れてみて調整する。挽き方を荒くすると、味の重さが無くなり、抽出不足になる。細かくすると、適度なコクや苦味が得られるが味が重くなる。また、お湯の温度を高くすると香りが出て適度なコク、苦味が得られるが味が重くなる。逆に温度を低くすると味に重さがなくなり、香りが減り抽出不足になる。さらに時間を長くすると、味にコクが出て適度な苦みは得られるが味が重くなる。

時間を短くすると、味の重さは無くなり抽出不足になる。また、酸味は速く抽出され、苦味は遅く抽出される事も知っておかねばならない。この様に粉の量や粗さに依って時間は変わってしまう。そこにドリップのややこしさが生まれるのだ。また、どんなコーヒーを使うかに依ってもコーヒーの味が変わってくる。粉の挽き具合が細かくなるにつれて抽出が速くなり、湯の温度は高くなるにつれて抽出が速くなるし、抽出量がふえる。粉とお湯の接触時間が長くなるにつれて抽出量が増え、粉とお湯の比率は、お湯の比率が大きくなるにつれて抽出液が薄くなり、水質に依ってもコーヒーの味に影響を与える。ちなみに、アルカリ性の水は酸味を中和させる。と云われている。結論として、いつも同じ様に挽けると安定させやすいと云う事に落ちつく。とは云ってもこれが中中難しく、たかが珈琲されど珈琲である。矢張り講義の成果はあったと自負してはいるが、自分なりの抽出のマニュアルを作っておくのがベストだと云えるのではないだろうか。

CBCイッポウ生中継

原　由里子

７月のとある午前中。この日、店長は休みで、お客さまも居ないときでした。

ひとりで仕事をしていると、電話が鳴り、「お話はようございます。ＣＢＣＴＶのＴＶ局のかき氷の特集の番組に、ぜひ生中継させてほしいという依頼でした。

最初は、へっ？イッポウ担当の・・・」。

聞いていた感じでは、そのうち、わわわ・わ・・・わ・・・わ・・

息子の試験

鎌澤　宣子

息子は、社会人になって八年目になります。この一年間、車の事故を二回、どちらも物損で済みましたが、仕事でもミスが続き、十月だったでしょうか、「仕事を辞める！」とまで言いだしました。夫と私は、ただ見守るだけでした。そのとき、「直責」というのは、今、息子が、「班長とか、責任のある立場にたとしていこうとしています。

そのため、最近は、休みではなく、休みの日に、職場に行くわけではないのですが、携帯に電話が良くかかってくるようになりました。ともすると、仕事が終わって、家に帰っても電話が鳴ります。その度に、話を聴き、指示を出している様子を見ながら、つい自分に置き換えて考えてしまいます。

なるべく、口を出さないようにしていますが、本人が、相談してきたら、ともかく今どう思っているのか、何に困っているのかを聴くようにしてくれたほうが、心がけています。なので、「そうか、そうか、大変やな。」「上のもんがもっとこうしてくれたらいいのにね。」と、「そうなんだ。」と、「私が言うようにしてくれるんやよ。」と、解ってくれる事で、満足しているようです。

息子の会社は、一年に一度、自己評価といって、自分で自分の一年間の評価を出すのです。「1」「2」を、自分で付けて提出したときに、「なんで1，2をつけなあかんのや、もっと上をつけたらいい。」と上司に言われました。

息子は、「でも、ミスを続けてしまいましたから。」と返答します。「でも、そのあと同じミスをしてないやろ。改善点を考えて実行しているやろ。だからもっと高くてもいいんや。」と言われたそうで、とてもうれしそうでした。

「よかったね。ちゃんと見ているやつ。認めてもらっていると思えば、頑張れるもんね。」「うん。僕もゆとり世代で育ったとるで、褒められて育つんや。褒められんとのびんで！」

「少し前までは、いやや、上にはなりたくない。」「直やりなが責任者はキツイ、ちかしてくれる。」

「今のままがいい。」

あなたの時間は十時でしたが、一時間帯は、直ったりを帰りまして、昼夜の直接話をして、一緒に食事をしながら、話を聴いてあげるのが、私の役目でしょうけど、

毎回同じ事を聞いたり、少し控えめに言うのは、私自身の事であれば、平気なのですが、息子の事になると、心配です。また何もしてやれないのが、はがゆい事が、自分で乗り越えていけるように祈るより仕方がないので、今は見守ることだけをしています。

おわり

ちょっと立ち話

りおんちゃん　いい所に決まってよかったね。ただあとは、どこに行くかやね。子離れ、親離れなかなかしない親子だったけど、よかったね。いつもそこが気になって、そこだけじっくり読んどるよ。あとは適当だけどねー。また遊びに行くね。

（新馬場町の奥さん）

この前、新聞読んで、思わず笑っちゃった。突風」って書いてあってひとりで笑ってたわ。社長さん、幸せになってよかったわね。九州に行っても、仕事して、昔から仕事してたから苦労してるしね。りおんちゃん、いい所に就職できてよかったよね。どこの空港に行くの？近いといいよね。

（近所の奥さま）

子供が大きくなると、また違う心配が増えてきますね。ハイウェイハイキングは私も行きたかったです。みそ煮込みうどん、家のすぐそばなので食べたくなりました。選挙、心して選ばないとなと思います。好奇心を持つことはいいことですよね。

（鎌澤）

若いころは、コンサートも何度も行ったり自分が楽しむことばかり考えてました。もう子育ても終わりましたし、少しづつ自分自身好きだった事、行きたい所に出かけていきたいですね。

（大橋）

バイクは一時期あこがれた事があります。けど、スクーターに試し乗りして、変に加速して断念しました。

コンサートも行ってないですね、最近。行きたいですね。

どうも政治に興味が持てない。持たなくてはいけないけど、国民無視の政治にみえてしょうがないです。趣味？趣味・・。好奇心は旺盛ですが胸を張って言える趣味はない。敵がいなけりゃ」張り合いは必要だけど、私に敵はいらないです。

（原）

原先生、女優デビューおめでとうございます！（笑）いや～。おもしろかったです！だいたい、九州のテレビ局と、東海地方のテレビ局との大きな違いがあるんですよ！前から、たまにテレビに出していただく機会があったので、東海地方の、大手テレビ局の方々は、おエライさんから、みなさん、腰が低いことにビックリしたんです！『お金はちゃんと払います。』と皆さんおっしゃいます。こっちでは、ただでもらおう！とするローカル番組が多いんです。たとえ、リハーサルでも、『お支払いを。』と必ず言われますし、取材も頭を下げて、ていねいにお願いされます。こっちは、来てやった！がでるので、マスコミ関係は威張ってて嫌いだったのが、東海地方の大手局は、どこも同じ、マスコミへの目が変わりました。

だから、いい番組が出来るんですよね。

我が家の、節約レシピはブロガーよっさんの受け売りですが、肉じゃがから、カレー、カレーうどんです。カレーにコクが出ますよ。

子育てより、あたしを育ててもらってる我が家、いろんな形があっていいんです。

（みほ）

川風

しらいしみほ

さて、１２月２１日から連休中、飛騨高山へ行ってまいります。この間、りおんの剣道の大会や、第１回高山市長杯や、総会や、だいじな行事がぜんぶ行けずじまいで、迷惑をかけてしまいました。つい春ごろまでは、自分の親が来てないと、すねたり、ひがんだりしてた甘えん坊です。先生は、そういう事も含めて、りおんに強くなってほしい。平気な顔していてほしいと、願ってくれる偉大な方です。親以上の真の思いやりを持って、育てて下さいます。叱りとばしながらも、りおんの寂しさを、人一倍感じて下さっています。

年末は、３年間、お世話になった寮の大掃除です。

「そんな、たった１日のために来なくても大丈夫ですよ。」と、おかみさんに声をかけてもらいましたが、本当なら、順序があるとするならば、大掃除に行く前に、いち大イベントへ駆けつけなければならなかったのですが、高山へ行くのもお金と時間がかかります。仕事の工面も、そうそう出きずにいます。

「りおんが世話になった寮の掃除だけは行くぞ！」と、掃除だけは、早くから決めていただんなちゃん。りおんの暮らした家の最後の大掃除です。お世話になった想いをこめ、そんな大事な事を、人任せにしてはならない。「おれは、作業着で行くぜ！」と、会社に休みを出し、張り切ってくれています。ありがたいことです。１日なので、飛行機か、新幹線で行こうと思ったのですが、あとは卒業の時に行く予定なので、今のうちに、３年分の荷物をできるだけ持って帰ろうと、車で行く事にしました。きょうも大雪警報の出てる高山へ、レンタカーを借りていきます。驚く事に、それが、九州では、スタッドレスのレンタカーがない！！ないんです。やっと、１０月の中旬ぐらいから特別シーズンとやらで、１社だけ、スタッドレスを出しました。しかも、ふつうの料金に、２万～３万円増し。アリエン～！大垣あたりでは、冬にレンタカー借りると、当たり前のようにスタッドレスですよね。料金が２、３万増しになることなんて、ありません。それが九州では、当り前じゃないんです。ふ～。

「大阪からは、あたしが運転するけん！いつもみたいな、スピードで、アイスバーンの雪山越えは出来んでね。」とえらそうに言うと、「運転しきるとや～？」と突っ込み返しです。はい、毎月のように、雪だろうが、雪で下道におろされながらも、何度も高山入りしましたんで、だいじょうぶです。と思ったものの、最近は、長距離はすべて、お任せで居ましたので、片道１千ｋｍ、１２時間の運転は少し不安でもあります。けれどあの、富山のアルペンルートのような高い雪が壁を作った高速の道を　見せてあげたくもあり。去年、行った時には、雪は降ってたけど、少なかったので、あの豪雪はまだ見てないだんなちゃんです。たのしみ。いつもより休憩をいっぱい取りながら、少しづつ、高山まで進みます。りおんも、ほんとうは、同じ車で帰省できるはずだったのが、こんな、最後の最後に、科学で赤点を取ったらしく、補習授業で、一緒には帰れなくなりました。「え～。うち、クリスマスどーするとお？」って。こっちのセリフです！せっかく、一緒に車でいろんな話をしながら帰れるはずだったのに、ばっかじゃないの！です。雑巾、エプロン、手袋、ホッカイロ、部屋の中でも窓あけっぱなしで掃除するので、寒さ対策を万全にして、３年間の寮の部屋を、父母で美しく磨きあげてきます。この間のいくつかの行事では、初めて、寮生たちが親と食事に行ってる夜の寂しい電話がありませんでした。明るく「寮の掃除には、うちの親２人とも来ますんで。」と、みんなに言えたりおん。もうすぐ社会人の意識が芽生えてきてるのでしょうか。たくましく育ててもらった恩返しをする番ですね。大垣に高山にそして新しい町、福岡に感謝です。

衆議院選挙２

ながいこと風地蔵新聞を書かせていただいているが、前回衆議院選挙のことを
書いたら一番反応があった。やっぱり保守党が勝った。でも、そんなに圧勝していいの？とも思う。
政治家本人が「万歳」をするかしないかの話。岐阜の女性議員様はガーっとうれしそうに手を挙げていた（笑）
自分のことしか考えていないんだね・・・

阿部さんには笑顔がなかったのが唯一の救いかも。

ウチの２０代の若い衆たちは選挙に行かなかった。まあ、そうだろうなと思う。
テレビを見ないのでどんな政党があり、どんな候補者がいるのかも知らない。
未だに選挙カーがまわってきて、名前の連呼・・・

一番知りたいのは政策なのに、ホームページをつくることさえできない。

今、方丈記を読んでいる。書き上げられてちょうど８００年目。
戦乱と災厄の時代背景はいまと同じか。
「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。」

世は無常。

庭師　奥田良樹